

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

陽太が引越すことは、夏休みの前から知っていた。幼稚園のころからずっと隣の家に住んでいた陽太は、父親の仕事の都合で、遠くの町へ行く。

引越しの朝、ぼくは窓から、陽太の家の前に止まったトラックを見ていた。見送りに行くつもりだった。けれども、何を言えいいのか分からなかった。「元気でね」も「また会おう」も、ありきたりすぎて、言いたたんに本当のお別れになってしまう気がした。

荷物がすべて運び出され、トラックが先に出ていった。陽太の家族が車に乗りこむのが見えた。ぼくはまた、窓の前から動けなかった。

そのとき、陽太が車の横で立ち止まり、こちらの窓を見上げた。目が合った。陽太は、右手の人さし指を立てて、それからくりと円をかいいた。

ぼくは、はっとした。小学生のころ、二人で決めた合図だった。「またあとで」という意味だ。放課後に別れるとき、どちらからともなく、この合図をした。何百回もしたはずなのに、最近では照れくさくて、すっかりしなくなっていた。

ぼくは窓を開けて、同じように指を立て、円をかいた。陽太は少し笑って、車に乗りこんだ。車は角を曲がって、見えなくなった。

言葉は、何も言えなかった。でも、ぼくは不思議と、悲しいばかりではなかった。「さよなら」の合図ではなく、「またあとで」の合図で別れたのだ。そのことが、胸の中で小さな約束のように光っていた。ぼくは机に向かい、陽太の新しい住所が書かれた紙を、引き出しから取り出した。

(この問題のための書き下ろし)

問一 ぼくが「元気でね」や「また会おう」を言えないと思ったのはなぜですか。「ゝ気がした」につながるように、本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。

[illegible]

問二 陽太がした合図は、どんな意味の合図でしたか。本文中から五字で抜き出さないさい。

問三 「ぼくは、はっとした」とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア陽太が怒っているように見えたから。

イ 最近はしなくなっていた、二人で決めた合図を陽太がしたから。

陽太の家族が、ぼくに気づかずに出発しようとしたから。

工陽太が何か大切な物を忘れていったから。

問四 「悲しいばかりではなかった」とありますが、それはなぜですか。「合図」という言葉を使って、四十五

字以内で説明しなさい。

[illegible]

問五 最後の一文から読み取れる、ぼくの気持ちとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 陽太のことを早く忘れようとしている。

イ 陽太との約束を大切に、これからも連絡をとろうとしている。

陽太の住所をなくさないように、しまい直そうとしている。

工陽太に言えなかったことを後悔し、何もする気が起きない。